



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月4日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 佐古 一彦 TEL 03-5560-2702
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,416	2.3	1,260	△7.6	1,472	△4.3	738	△25.8
2019年3月期第3四半期	25,826	2.6	1,364	△6.0	1,538	△4.8	996	△8.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 892百万円 (74.8%) 2019年3月期第3四半期 510百万円 (△72.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	95.93	—
2019年3月期第3四半期	129.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	38,778	20,677	53.0	2,670.67
2019年3月期	38,869	20,171	51.7	2,606.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 20,570百万円 2019年3月期 20,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	2.5	1,800	4.3	1,900	△0.6	1,250	△0.1	162.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,740,000株	2019年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	37,604株	2019年3月期	37,437株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,702,542株	2019年3月期3Q	7,702,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内総合物流事業の営業収入は240億3千7百万円(前年同期比1.2%の増収)、営業利益は11億6千1百万円(前年同期比9.3%の減益)となりました。

人手不足に伴い人件費や作業費などのコストが増加し、収益が圧迫されました。

倉庫業は、輸入青果物の取扱いが減少しましたが、食品類、紙、穀物などの取扱いが増加し、入出庫数量は284万トン(前年同期278万トン)、平均保管残高は30万トン(前年同期29万トン)となりました。

港湾運送業は、ばら積み貨物の取扱数量は、残土が大きく減少しましたが、穀物類、石炭が増加し、371万トン(前年同期370万トン)となりました。コンテナ取扱数量は、新規航路開設などにより川崎港、志布志港での取扱いが増加し、201千TEU(前年同期183千TEU)となりました。

自動車運送業は、合成樹脂などの取扱いが増加し、前年同期を上回りました。

その他の業務は、前年同期並みとなりました。

国際物流事業の営業収入は25億9千万円(前年同期比12.9%の増収)、営業利益は9千1百万円(前年同期比19.8%の増益)となりました。ロシア国内での貨物の取扱いが増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収入264億1千6百万円(前年同期比5億8千9百万円、2.3%の増収)、営業利益12億6千万円(前年同期比1億3百万円、7.6%の減益)、経常利益14億7千2百万円(前年同期比6千6百万円、4.3%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、「火災による損失」を計上したことにより7億3千8百万円(前年同期比2億5千7百万円、25.8%の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9千万円減少し、387億7千8百万円となりました。流動資産は、受取手形及び営業未収入金等の増加に伴い、3億2千1百万円増加しました。固定資産は、株価の上昇により投資有価証券は増加しましたが、有形固定資産の減少等に伴い、前連結会計年度末に比べ4億1千2百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億9千6百万円減少し、181億1百万円となりました。設備関係支払手形が減少し、借入金も長期短期合わせて8千7百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加し、206億7千7百万円となりました。利益剰余金が3億5千2百万円、その他有価証券評価差額金が1億2千8百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は53.0%で前連結会計年度末比1.3ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、2019年5月20日の決算短信にて公表した通期の連結業績予想につきまして変更はありません。

なお、川崎支店において2019年4月16日に発生したベルトコンベア火災の復旧等に係る費用並びに営業活動等に及ぼす影響については現在も調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であるため、連結業績見通しには加味しておりません。業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748	1,823
受取手形及び営業未収入金	4,045	4,246
原材料及び貯蔵品	162	189
前払費用	106	246
その他	589	472
貸倒引当金	△0	△3
流動資産合計	6,652	6,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,820	53,044
減価償却累計額	△39,534	△40,167
建物及び構築物 (純額)	13,285	12,877
機械及び装置	20,751	20,471
減価償却累計額	△18,156	△18,059
機械及び装置 (純額)	2,594	2,412
船舶及び車両運搬具	1,156	1,222
減価償却累計額	△1,080	△1,111
船舶及び車両運搬具 (純額)	76	110
工具、器具及び備品	965	989
減価償却累計額	△878	△889
工具、器具及び備品 (純額)	86	99
土地	8,461	8,461
リース資産	65	113
減価償却累計額	△38	△41
リース資産 (純額)	27	72
建設仮勘定	0	8
有形固定資産合計	24,532	24,043
無形固定資産		
リース資産	1	1
その他	122	124
無形固定資産合計	124	125
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	5,938
長期貸付金	88	52
繰延税金資産	358	191
その他	1,447	1,482
貸倒引当金	△26	△29
投資その他の資産合計	7,561	7,635
固定資産合計	32,217	31,804
資産合計	38,869	38,778

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,036	3,081
短期借入金	5,136	5,761
リース債務	12	22
未払金	811	814
未払法人税等	139	38
設備関係支払手形	822	454
その他	1,052	944
流動負債合計	11,011	11,117
固定負債		
長期借入金	5,546	4,834
リース債務	16	53
退職給付に係る負債	1,910	1,894
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	55	55
その他	149	137
固定負債合計	7,687	6,984
負債合計	18,698	18,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	5,528	5,881
自己株式	△61	△62
株主資本合計	18,909	19,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,322	1,451
為替換算調整勘定	164	155
退職給付に係る調整累計額	△318	△298
その他の包括利益累計額合計	1,169	1,308
非支配株主持分	92	106
純資産合計	20,171	20,677
負債純資産合計	38,869	38,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収入	25,826	26,416
営業原価	23,144	23,738
営業総利益	2,682	2,677
販売費及び一般管理費	1,318	1,417
営業利益	1,364	1,260
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	146	153
受取地代家賃	67	65
持分法による投資利益	—	1
為替差益	—	11
その他	97	70
営業外収益合計	314	304
営業外費用		
支払利息	91	86
持分法による投資損失	9	—
為替差損	28	—
その他	9	6
営業外費用合計	139	92
経常利益	1,538	1,472
特別利益		
固定資産売却益	15	2
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産除却損	80	61
火災による損失	—	354
特別損失合計	80	415
税金等調整前四半期純利益	1,473	1,058
法人税、住民税及び事業税	215	226
法人税等調整額	257	78
法人税等合計	472	305
四半期純利益	1,000	753
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	996	738

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,000	753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△503	130
為替換算調整勘定	24	△7
退職給付に係る調整額	△1	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△2
その他の包括利益合計	△490	139
四半期包括利益	510	892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	877
非支配株主に係る四半期包括利益	3	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社川崎支店の火災について)

2019年4月16日に、当社川崎支店において、ベルトコンベアから火災が発生し、近隣の施設に延焼しました。当社施設に係る損失については「火災による損失」として計上しております。復旧等に係る費用並びに営業活動等に及ぼす影響については現在調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であります。

なお、損害保険の付保による保険金の受取額については未確定なため、受取保険金は計上しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,656	2,170	25,826	—	25,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	123	210	△210	—
計	23,742	2,294	26,036	△210	25,826
セグメント利益	1,280	76	1,356	7	1,364

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,974	2,442	26,416	—	26,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	148	211	△211	—
計	24,037	2,590	26,628	△211	26,416
セグメント利益	1,161	91	1,252	7	1,260

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。